

廃校オルゴールとマララの鉛筆

谷本 研 × 野口ちとせ

大月町旧小学校（廃校）マップ

第1会場

COSA 大月（旧小字角小学校）

9/17（土）～10/7（金）

AM10～PM4（会期中無休）

※会期は第2会場と異なります

オープニングイベント

- 9/17（土）
13:00～ ワークショップ
『校庭に巨大鉛筆を立てる』
14:30～ 音楽会 山口 幸、イーグルサックス
アンサンブル、クラシックカルテット

※参加費無料、ワークショップは汚れてもよい服装で
ご参加ください。



《第2会場》

自遊学校

大月町南ヶ谷1915-3
TEL 0880-73-0804

9/18～10/1

AM12～PM4
（会期中無休）

大月町

Otsuki
Contemporary Art
大月コンテンポラリーアート 2022

第2会場

自遊学校（旧竜ヶ池小学校）

9/18（日）～10/1（土）

AM10～PM4（会期中無休）

※会期は第1会場と異なります

マララの鉛筆チャリティ展

チャリティライブ

- 9/18（日）PM6:30～
『光と音を奏でる』 米子 匠司（音楽家）
※入場無料

・宮毛駅からの交通案内・

バスで40分（高知西交通清水町毛根）	徒歩2分	COSA 大月
車で30分（R321）		
バスで50分（高知西交通清水町毛根）	徒歩3分	自遊学校
車で30分（R321）	徒歩3分	



《第1会場》

COSA 大月

高知市多摩大月町小字角320

TEL 0880-73-1181

（大月町まなづり推進課）

9/17～10/7

AM12～PM4
（会期中無休）



各会場へのアクセス 展覧会詳細

主催：「art」 共催：大月町、くろしお芸術協議会、後援：大月町教育委員会

大月町旧小學校校歌十四篇 曲校オルゴール



オルゴールで再現する14校の校歌と
歌詞から眺める大月の風景

谷本 研 TANIMOTO Ken

1973年神戸生まれ。1998年京都市立芸術大学大学院造形構想専攻修了。アートやその周辺に関わりながら企画活動を行う。1999年京都のな祭館で開催した「池田物見遊山」展以来「観光」をテーマにしたモチーフとする。「やんばるアートフェスティバル 2021-2022」では地域の廃校校歌をモチーフにした作品を発表。漫画やデザインも手掛け、「学校で地域を聴く〜北山じいさんの風土記」から〜（小学社、2020）ブックデザイン。かつて流行した観光パンタンの収集研究家として著書「Permanet Japan」（PARCO出版、2004）などがある。

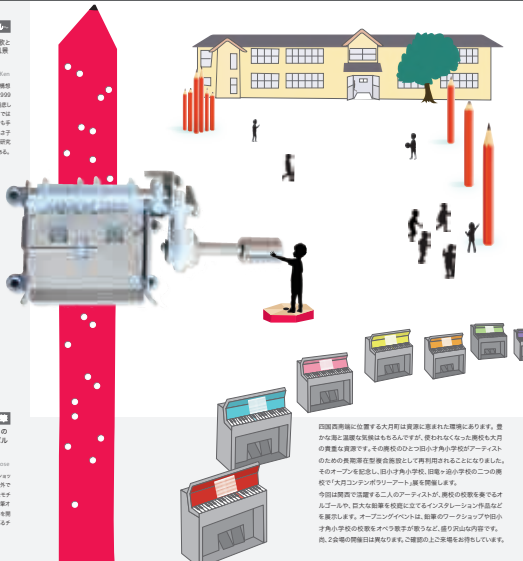
マララの鉛筆

学校に行けない途上国の
子どもたちを支援するシンボル



野口もと恵 NOGUCHI Motoko

大阪生まれ。「音・空・顔」と題したインスタレーションやワークショップによる経験の試みなど、「音」をテーマにした造形作品を国内外で多数発表。1990年初版。2015年以降、赤い鉛筆と国旗をモチーフにした連作「マララと君 For Malala」で、巨大な赤い鉛筆オプシェイ（マララの鉛筆 She is straight）をシンボルとした活動を開始。以降、途上国の女子教育を支援するマララ基金に寄付されるチャリティ展を企画開催。



四国高松に位置する大月町は資源に恵まれた環境にあります。豊かな海と温暖な気候はもちろんです。使われなくなった廃校も大月の貴重な資源です。その廃校のひとつ旧小角小学校がアーティストのための美術館を型模会施設として再利用されることになりました。そのオープンを記念し、旧小角小学校、旧竜ヶ池小学校の二つの廃校で「大月コンテンツラリーアート」展を開催します。

今回は関西で活躍する二人のアーティストが、廃校の校歌を奏でるオルゴールや、巨大な鉛筆を校庭に立てるインスタレーション作品などを展示します。オープニングイベントは、鉛筆のワークショップや旧小角小学校の校歌をオケラ歌手が歌うなど、盛り沢山の内容です。尚、2会場の開催日は異なります。ご確認の上ご来場をお待ちしています。